

【家庭分野の目標】
(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（11）	二学期（16）	三学期（8）
【4月～5月】 家庭分野のガイダンス（1） 私たちの家族と家庭生活（1） 中学生と家族の一日の家庭生活（0.5） 私たちがなう家族・家庭の機能（0.5） ※学習ノート、プリント課題で評価	【9月～10月】 日常食の調理（2） 肉の調理（2） 野菜・いもの調理（2） ※学習ノート、プリント課題、実技で評価	【1月】 食品の選択と購入（1） 生鮮食品の特徴（2） ※学習ノート、プリント課題で評価
【5月～6月】 食事の役割（1） 私たちの食生活（1） 栄養素の種類と働き（2） 中学生に必要な栄養（1） ※学習ノート、プリント課題で評価	【10月～11月】 食品に含まれる栄養素（2） 6つの食品群と食品群別摂取量の目安（2） バランスの良い献立作り（1） ※学習ノート、プリント課題で評価	【2月】 加工食品の特徴（2） 食品の保存と食中毒の防止（1） ※学習ノート、プリント課題、定期テストで評価 第4回定期テスト
【6月～7月】 中学生に必要な栄養（2） 生活の課題と実践（1） ※学習ノート、プリント課題、生活の課題と実践の提出物、定期テストで評価 第1回定期テスト	【11月～12月】 バランスの良い献立作り（3） 生活の課題と実践（2） ※学習ノート、プリント課題、生活の課題と実践の提出物、定期テストで評価 第3回定期テスト	【3月】 消費者としてできることー権利と責任ー(0.5) 省エネルギーと持続可能な社会（1） 持続可能な消費生活を目指して(0.5) ※学習ノート、プリント課題で評価

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・定期テスト ・プリント課題 ・学習ノート ・実技 など	※定期テストは各学期 50点 (技術と合わせて100点)とする。 ※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。 ※ 実技は、調理実習の行動観察 (個人・班) で評価を行う。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。 ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康によい食習慣がわかり、中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 ・栄養素の種類と働きがわかり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解し、1日分の献立作成の方法について理解している。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、調理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。
II	<思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・プリント課題 ・学習ノート ・生活の課題と実践の提出物 など	※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。 ※生活の課題と実践は、「中学生の1日分の献立」、「日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画」について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けているかを評価する。 A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。 ・家での課題は、自分の生活がより豊かになるように工夫を考える。

Ⅲ	<主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	[全科目共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 [平常点] ・授業態度、提出物の状況など	[全科目共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 [平常点] ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとするかどうかをA～Cで評価する。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないよう心掛ける